



さとやま

9月に見られるいきもの



今年も暑い夏でしたが、さすがに9月になると涼しい日があるものと期待したいです。3年連続中止だった「貝吹のかぎ万燈」がお盆に行われた万灯山山頂は、写真のように焼け跡から秋草が伸びていることでしょう。そんな9月の里で見られる生き物をご紹介します。

お彼岸に咲くはずの**ヒガンバナ**は、最近では月末頃が見頃です。草地では、花穂が狐の尾のような**キツネノマゴ**の可愛い花が咲きます。センターゾーン職員駐車場近くでは、赤い部分が甘い**イヌマキ**の実がなります。ピオトープ上の池では、胃の薬になる**ゲンノショウコ**の赤花が、中央広場の上の道では白花が見つかります。湿った場所では、草丈が1m程にもなるカヤツリグサ、**カンエンガヤツリ**が見られます。ピオトープ下の池では、赤とんぼの仲間**マユタテアカネ**が飛び交うことがあります。正面から見ると眉（豚の鼻？）のような斑があることから名が付けました。

万灯山への道沿いには、キセルの雁首（がんくび）に似た**ガンクビソウ**の花があちこちで咲いています。野鳥の森では、タイミングが良ければ、**ヤマジノホトトギス**の花が見つかります。

まだまだ残暑厳しいですが、こんな生き物たちを探して里を散策してみてください。



ヒガンバナ



キツネノマゴ



イヌマキ



赤花

白花

ゲンノショウコ



カンエンガヤツリ



マユタテアカネ



ガンクビソウ



ヤマジノホトトギス

里の生き物紹介

豆の花

9月、里ではいろいろなマメ科のつる植物が、ほかのものに絡みながら花を咲かせています。

ツルマメ



大豆の原種と言われています。1年草で、小草池の道沿いなど、日当たりのよい草地を好みます。初秋に花が咲き、さやは枝豆に似ていて、茹でて食べることもできるようです。縄文時代以前から食べられていたと考えられています。

ヤブマメ



野原に生えるツルマメに対し、中央広場上の道など、林の縁のような藪に生えることから名が付いたそうです。1年草で、ツルマメより少し遅れて細長い花が付き、さやえんどうのようなさやができます。豆は、隠元豆の品種、うずら豆を小さくしたような姿です。

また、地下茎にも咲かない花「閉鎖花」をつけ、自花受粉で種子をつけます。この豆は円形で大きく、アイヌ人が掘り出して食べていたそうです。

ノアズキ

花が小豆に似ているので名が付きましたが、小豆の原種は**ヤブツルアズキ**という種類です。



多年草で、ピオトープ上の池付近や、小草池へ向かう道ののり面に、ツルマメより早い時期に目立つ大きな花をつけ、その後実がなります。

葉の形がクズに似ているため、ヒメクズという別名があります。

タンキリマメ



豆や葉を煎じると去痰効果があるので名が付いたとされますが、実際は効かないようです。しかし、茎と葉は鎮痛・解熱作用があり、できものやはれものには煎じた液を塗ると効くそうです。種子は、ジフテリア・扁桃炎に服用されたそうです。

多年性で、古い茎は木質化します。田んぼエリアの里いも畑上の石垣など、日当たりの良い所で見られます。花期が長く、夏の初めごろから花が咲きます。さやは熟すると鮮やかな赤色になり、弾けて豆が2つぶら下がった状態になります。

クズ



秋の七草の葛です。これもマメ科で、つる性半低木です。大型で、ほかのものに巻きついて、高さ10メートルにもなります。たくさんの花が集まって下から順に咲いていきます。一つ一つの花がさやになるので、さやもたくさん集まってつきます。

豆は食べませんが、長芋状の根はくず粉の原料です。

一口に豆と言っても、様々な花の付き方、さやのでき方があります。他にも**ハギ**の仲間や、先月ご紹介した**クサネム**などつる性でないマメ科の花たちも多数あります。そんな里の豆の花たちに注目してみてください。

8月の行事紹介



「夏休み昆虫教室」を8月7日(日)に開催しました。今年も大勢の昆虫好きな子どもたちが集まり、熱心に昆虫の観察を行いました。

最初に里山の棚田近くの湿地で県指定の天然記念物のヒメタイコウチやトンボなどを観察、クヌギの木では、クワガタなどを採取し、素手で触る時にどこを持ったら良いか分からず焦ってしまう子もいました。多くの昆虫を探す経験や観察ができ楽しい教室でした。

9月の行事予定

18日(日)	はじめての絵手紙	20名	AM9:30~11:30	市川百合子
--------	----------	-----	--------------	-------

内容 ~ 文字や絵で、自分の想いを送る相手に素直に伝える絵手紙を作ります。

25日(日)	さとやま俳キング	20名	AM9:30~11:30	服部くらら
--------	----------	-----	--------------	-------

内容 ~ お彼岸の頃の里山を吟行しながらテーマを決めて、俳句を詠みあい楽しく学びます。

10月の行事予定

9日(日)	里山の稲作体験Ⅱ(稲刈・はざ掛け)	30名	AM9:30~11:30	当園職員
23日(日)	里山の稲作体験Ⅲ(脱穀)	30名	AM9:30~11:30	当園職員

内容 ~ 稲をカマで切り、はざ掛け乾燥させ、旧式脱穀機で稲から籾を取り除く作業を行います。

※「里山の稲作体験」を2回受講された方には、お米をプレゼントします！ また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。 [予備日：9日⇒16日・23日⇒30日]

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が6名以下の場合には開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ 当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課